

コード	10304
作成年度	25年度

基本事業評価表

基本事業名称	海上交通の充実
--------	---------

総合計画の位置付け	
政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進
施策名称	しまを支える交通基盤づくり

課コード	108	関係課名	
主管課名	まちづくり推進課		

基本事業の目的

島外航路の旅客船（フェリーを含む）の料金の低廉化、サービスの改善、利便性を考慮した便数の確保、島民や島外からの観光客等の海上交通を充実させることを目的とする。

基本事業の成果

成果指標名称 1	島外航路数	成果指標名称 2	便数				
成果指標の積算根拠	目標航路数	成果指標の積算根拠	目標便数				
目標達成年度	平成25年度	目標達成年度	平成25年度				
目標達成数値	4航路	目標達成数値	21便				
年 度		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
成果指標 1	目標 A	航路	4	4	4	4	4
	実績 B	航路	4	4	4	4	
	達成率 B/A	%	100.0	100.0	100.0	100.0	
成果指標 2	目標 A	便	29	29	29	29	21
	実績 B	便	29	29	29	21	
	達成率 B/A	%	100.0	100.0	100.0	72.4	

1次評価	現状	島外航路（長崎（鯛ノ浦・奈良尾）、佐世保、博多）は確保されているものの、今回、業績の悪化により撤退する業者があり、便数が8便減に至ったことは残念である。旅客運賃についての割引はあるが、一部を除いて恒常的な低廉化になっていないため、今後も県の事業も含め全航路完全実施に向けての協議を重ねていく。
	課題	島外航路の便数の確保と、全航路の旅客運賃の恒常的な低廉化になっていないため、実現可能なものから実施していく必要がある。
	改善	離島基幹航路運賃対策協議会の協議を踏まえ、旅客運賃の恒常的な低廉化の全航路実現に向けて、今後とも協議していく。
2次評価		本土間交通については、旅客運賃の恒常的な低廉化の全航路への適用など、関係機関と協議し、地域間交流が図られるよう努めること。
3次評価 住民等の意見		
町の対応		

※3次評価は、住民等の意見があった場合にのみ、再度公表するものとする。

◆基本事業を構成する評価対象事業◆

番号	評価コード	評価対象事業名称	担当課	平成24年度 直接事業費	評価の方向性
1	103040301	五島沿岸航路整備補助事業	まちづくり推進課	1,773千円	(途中) このまま事業を継続
2	103040401	地域公共交通活性化・再生総合事業	まちづくり推進課	3,840千円	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
基本事業を構成する評価対象事業の合計事業費				5,613千円	